

商品のお問合せはTOTOお客様相談室へ



0120-03-1010

受付時間：平日 9:00～18:00
土・日・祝日 10:00～18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

'99.5.26

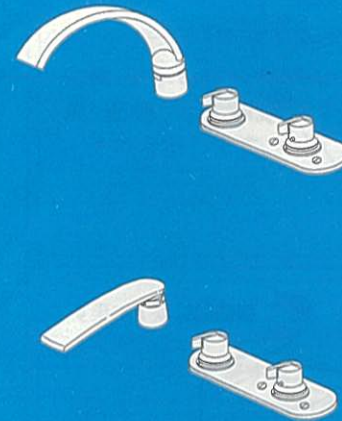
本社 〒802-8601 北九州市小倉北区中島2-1-1ビル電話受付台(093)951-2111

'99.04
03001R

再生紙を使用しています

ニューファミリーシリーズ “自動みずとめ” 住宅用定量止水付 サーモスタット混合栓

TOTO 取扱説明書



- このたびは、TOTO住宅用定量止水付サーモスタット混合栓をお求めいただきました。まことにありがとうございました。この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この説明書は、保証書とともに、大切に保存しておいてください。

もくじ

安全上の注意	1～3
使用上の注意	3～4
特長・各部のなまえ	5
各部の役目	6
つかいかた	7
最大設定量の調節のしかた	8～10
温度調節のしかた	11～12
手入れのしかた	12
ストレーナの掃除	13～14
吐水口部の掃除	15
自動バルブの掃除のしかた	16
故障したときは	17
修理を依頼される前に	17
緊急時の止水のしかた	18

安全のために必ずお守りください

ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

- この説明書では、機器を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

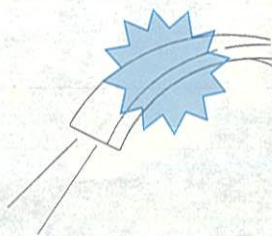
! **注意** この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。

!

注意

- (1)熱湯をお使いのときには、スパウトは高温になっています。直接肌を触れないでください。やけどをするおそれがあります。(スパウト付)



- (2)使用後は必ず温度調節ハンドルの目盛を40℃以下に戻しておいてください。次に使用すると、いきなり高温の湯を浴び、やけどをするおそれがあります。



!

注意

- (3)高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流してください。次に使用すると、水栓内に滞留した高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。



- (4)ハンドルの温度位置を確かめた後、吐水してください。高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

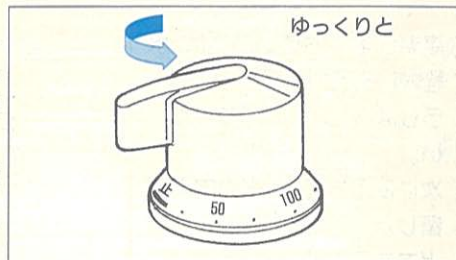


- (5)温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので、温度調節ハンドルはゆっくり回してください。やけどをするおそれがあります。



⚠ 注意

(6)ハンドルを急閉止させると、配管から漏水を起こすおそれがありますので、ゆっくり操作してください。
漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



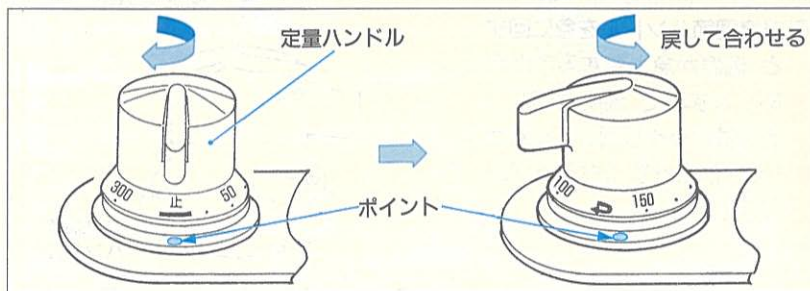
使用上の注意

熱湯を使用しますので、やけどなどの事故がないよう、必ず次の注意事項を守ってください。

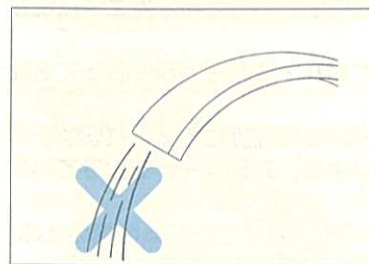
1. 120（約120L）以下に設定するときは、➡印以上回してから設定する

湯量を120（約120L）以下に設定するときは、必ず定量ハンドルを➡印以上回してからご希望の目盛に戻して合せてください。

（そのまま120以下の目盛に合せますと、自動止水しないことがあります。）

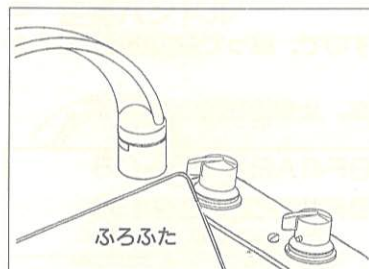


2. 吐水流量を極端に絞らないこと



吐水流量は止水栓で調節できますが、余り極端に絞ると、精度が悪くなったり自動止水しないことがあります。
目盛150（約150L）のとき、少なくとも30分以内で止水するぐらいの流量でご使用ください。

3. 自動吐水時は定量ハンドルの自動回転を妨げないこと



自動吐水時は定量ハンドルがゆっくりと自動回転しますので、その動きを妨げないようにしてください。

動きを妨げると、湯量が多くなったり自動止水しなくなります。（ふるふたなどが定量ハンドルにあたらないようにしてください。）

給湯機が瞬間型の場合

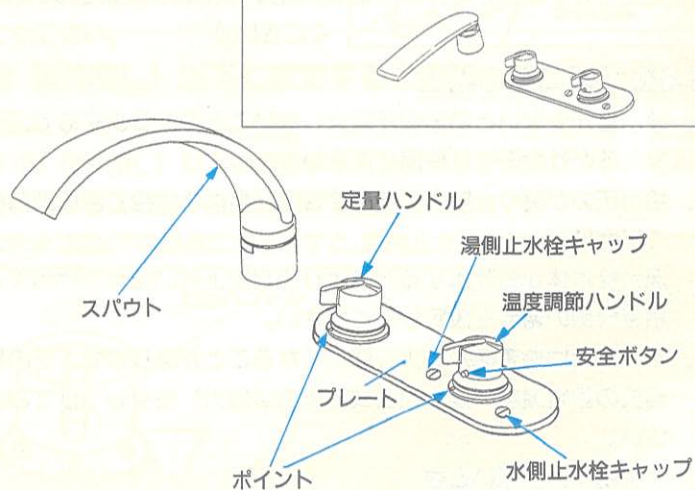
1. 吐水量が少ないと給湯機が着火しないことがありますので、止水栓はできるだけ全開でご使用ください。
2. 給湯圧力が高く、吐水量が多すぎる場合は止水栓で流量調節を行ってください。
3. 混合栓本体から吐水する温度より10°C以上高い温水を供給するよう、給湯機側の温度を設定してください。
4. 次の場合は給湯機が着火しにくくなる場合があります。その場合は給湯機の設定温度（能力切替式の場合は能力）を少し下げてください。
 - ・給水圧力が低いとき
 - ・水温が高いとき

特長・各部のなまえ

1. 希望湯量を設定すれば浴槽に湯を貯める間、何度も湯量を気にする必要がなく、湯をあふれさせる心配もありませんので節水省エネに役立ちます。
2. サーモスタット付ですので、使用中に給水・給湯圧力が変わっても吐水温度をほぼ一定に自動調節します。
3. 温度調節ハンドルの操作ひとつで、お望みの温度に変えられます。
4. 配管中の砂やごみが機能部に入らないよう、ストレーナを設けています。
5. 湯量の制御は時間でなく、実際に流れる湯の量で制御する機構のため、水圧の変動で湯量が変わることがほとんどありません。
6. 浴槽の大きさに合わせて必要とする湯量以上吐水しないよう、最大設定量の調節ができます。
7. 温度調節ハンドルは安全ボタン付ですので、誤って熱湯を出すことはありません。
8. 圧力調整や内部の分解・清掃に便利な、止水栓を設けています。

TBF41RX (Rタイプ)
TBF41LX (Lタイプ)

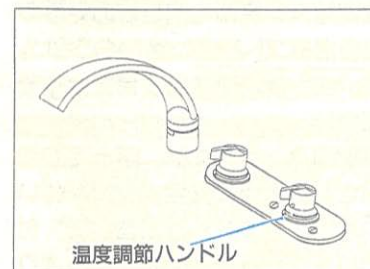
TBF41ARX (Rタイプ)
TBF41ALX (Lタイプ)



※図はRタイプを示します。Lタイプは本図と逆勝手となります。

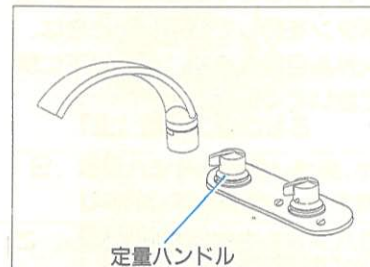
各部の役目

1. 温度調節ハンドル



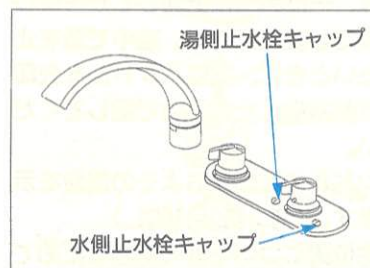
吐水温度を変えるときに使用します。サーモスタット付ですので、調節後は吐水温度がほぼ一定になるように自動調整されます。なお、このハンドルで、湯水を止めることはできません。

2. 定量ハンドル



浴槽に湯をためる際、自動止水させるときに使用します。希望湯量の目盛に設定すれば、その量だけ吐水した後自動止水します。また、さし湯、さし水など通常の開閉ハンドルとしても使用できます。

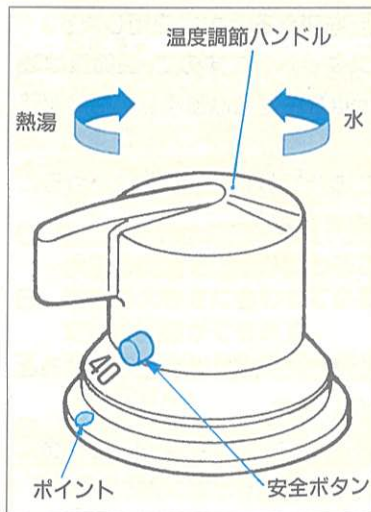
3. 湯側・水側止水栓キャップ



定量機能が故障し、湯水が止まらないなど緊急を要する時、湯側・水側止水栓キャップをはずすとドライバーで簡単に止水栓操作ができます。(P.18を参照)

つかいかた

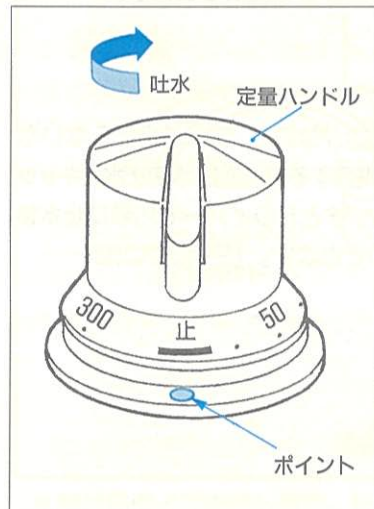
1. 温度調節



温度調節ハンドルを回してお好みの湯温をポイントに合わせてください。目盛“40”は湯温を示す目安としてください。

温度調節ハンドルには、誤って熱湯を出さないように安全ボタンが付いています。ハンドルは目盛“40”付近でロックされますので、これより高温で吐水したいときは安全ボタンを押して回してください。なお、安全ボタンを押して使用したときは、ハンドル目盛を必ず“40”以下に戻しておいてください。

2. 吐水と止水



定量ハンドルを矢印方向に回し、ご希望の目盛をポイントに合わせてください。120以下の目盛に設定するときは、一度印以上回してから戻して設定してください。途中で湯を止めたいときは、定量ハンドルを矢印と反対方向へ止まるまで回してください。

※ハンドルの数値がおよその湯量を示します。(例：150=150L)
設定位置については一度湯をためてみて、お取付けの浴槽に合った湯量を確認してください。

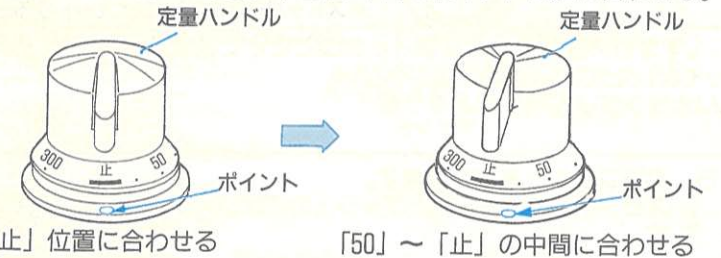
最大設定量の調節のしかた

定量ハンドル目盛300（約300L）まで設定できます。

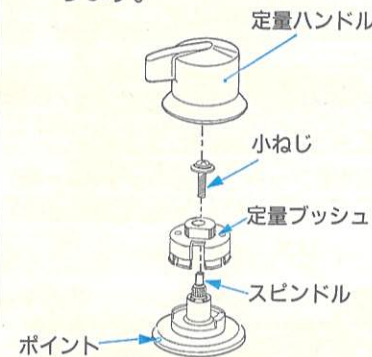
浴槽の適量以上、定量ハンドルが回せないように最大設定量を調節することができます。なお、工場出荷時は目盛を250に設定しています。

定量ハンドルの目盛は、およその湯量(L)を示しますので、調整する前に実際に浴槽に湯又は水を貯めて適量を確認し、次の要領で調節してください。

1. 定量ハンドル目盛がポイント位置で「止」になっていることを確認し、定量ハンドル目盛を「50」～「止」の中間をポイント位置に合わせる。

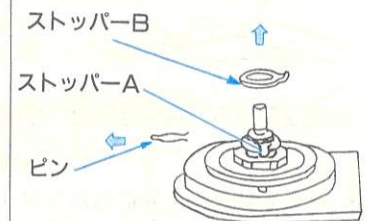


2. 定量ハンドルを外した後、小ねじを外して定量プッシュを抜取ります。

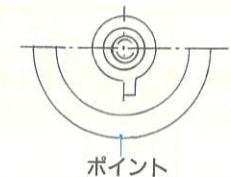


※ハンドルははめ込み式のため、強く引くと抜けます。

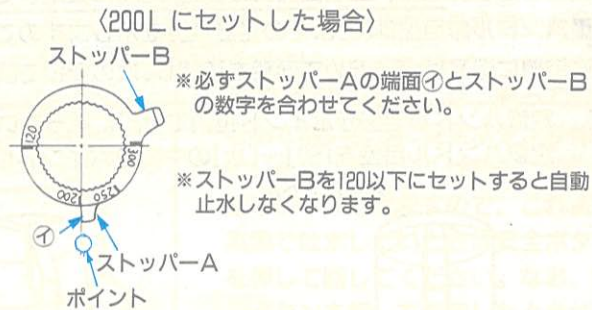
3. ピンを抜き取り、ストッパーB(上側ストッパー)を外します。



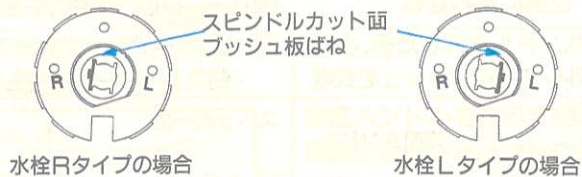
※ストッパーAは外さないでください。もし外れた場合は、ポイントに対して図のように入れてください。



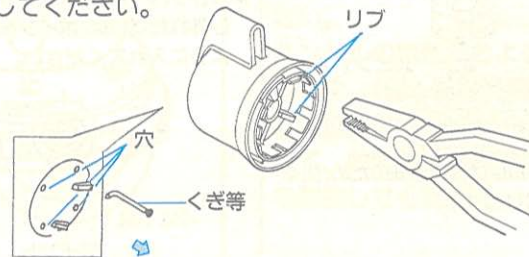
4. ストッパーBを適量位置にセットし、ピンで固定する。
 ストッパーBの数字はおよその湯量(L)を示し、数字は50単位になっています。



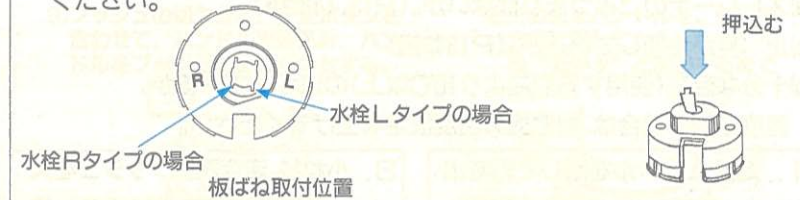
5. 定量ブッシュを取付けます。
 スピンドルのカット面とブッシュの板ばね位置を合わせてはめ込みます。



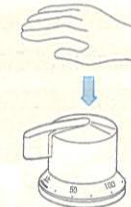
- ※定量ブッシュを必ずスピンドルにねじ止めてから、定量ハンドルを取付けてください。直接ブッシュをハンドルに組込むと取付けできません。
- 誤って取付けた際にはハンドル取付用ブッシュ内側のリブ(4ヶ所)をプライヤー等でひっぱるか、穴にタッピンネジ等をたて、ひっぱって外してください。



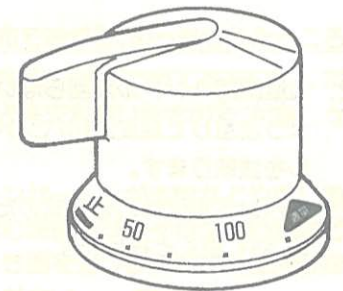
- ※定量ブッシュをはめ込む際、板ばねが外れた場合には、スピンドルのカット面の向きに合わせて、板ばねを元どおりにドライバーなどで押込んでください。



6. 定量ハンドルを定量ブッシュのカット面に合わせて取付けます。
 ※ハンドルははめ込み式のため、「カチッ」と音がするまで押込んでください。



7. 適量ラベルを貼りつけます。
 このページ下段に添付している適量ラベルを設定量の目盛の上に右図のように貼りつけてください。貼る時は、表面の汚れや水分をよくふきとってください。適量ラベルを貼っておくとご使用になるとき、設定が容易にできます。



最大設定量の調節をしない場合でも、浴槽に湯をためるとき合わせる目盛の上に適量ラベルを貼っておくと便利です。

温度調節のしかた

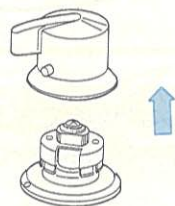
目盛どおりの温度が出ない場合は、次の要領で温度調節をしてください。
まず、調節する前に、次の点を確認してください。

- (a) ストレーナのごみつまりはないか。(P13、14参照)
- (b) 止水栓が全開しているか。(P13参照)
- (c) 十分な温度(使用する温度より10℃以上)の湯がきているか。
温度が低い場合は、給湯機の温度設定を上げてください。

1. 定量ハンドルを回して湯を出し、温度調節ハンドルを目盛に
関係なく42℃の湯が出る位置
まで回します。



2. 温度調節ハンドルが回らない
よう注意して温度調節ハンド
ルを抜取ります。
※ハンドルははめ込み式のた
め、強く引くと抜けます。



3. 小ねじ、温度調節ブッシュをス
ピンドルが回らないように注
意して外します。次に温度調
節ブッシュのカット面を、ポ
イントに合わせてはめこみ、小
ねじで固定します。

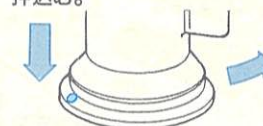


4. 温度調節ハンドルの安全ボタ
ンと本体のポイントを合わせ、
温度調節ハンドルを“カチッ”
と音がするまで押し込みます。



※温度調節ハンドルを組込む際、押し込みづらい場合には、安全ボタンを押し
ながらハンドルを押し込むか、または以下の手順で組込んでください。

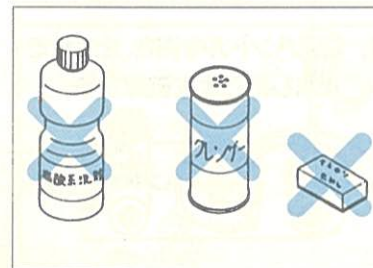
- ① ブッシュの切欠きと、安全ボタンを
合わせて、ハンドルを差し込み、ハン
ドルをブッシュの上に仮のせする。
- ② そのままハンドルを、矢印の
方向に回してから、ハンドル
を“カチッ”と音がするまで
押し込む。



※温度調節ブッシュは必ずスピンドルにねじ止めしてから、温度調節ハン
ドルを取付けてください。直接ブッシュをハンドルに組込むと取付けで
きません。誤って取付けた場合には9ページを参照しながら、同様の手順
で引抜いてください。

手入れのしかた

いつまでも美しさを保つために柔らかい布でみがき、めっきされたところは
ときどきミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でみがいでくださ
い。ただし、樹脂部(ハンドル)に付着すると光沢を失いますので、付着しない
よう十分注意してください。

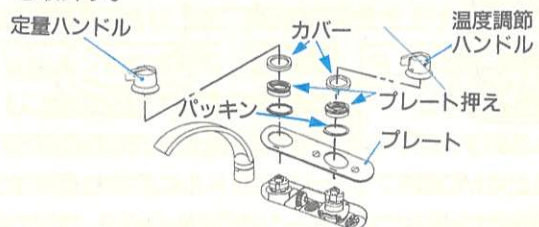


クレンザー・みがき粉などや粗い粉子
を含む洗剤及びナイロンたわしなどは
めっき面を傷つけますので使用しな
いでください。
また、酸性洗剤はめっきを侵しますので
使用しないでください。
まちがって使用したときはすぐに水洗
いしてください。

ストレーナの掃除

ストレーナがつまると流量が少なくなったり、水又は熱湯が出なくなるなど十分な機能が発揮されなくなりますので、ときどき次の要領でストレーナを掃除してください。

1. 下図の順序で定量ハンドル・温度調節ハンドル・カバー・プレートを取外す。

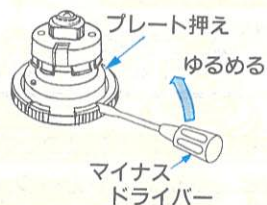


- 1-①カバーが外れない場合



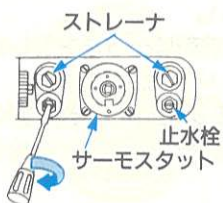
カバー下のすき間にマイナスドライバーを差込んで取外してください。

- 1-②プレート押えが外れない場合

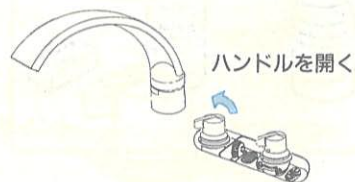


外周溝にマイナスドライバーを差込んでゆるめてください。

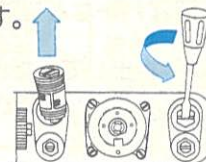
2. 手前の止水栓(湯側・水側)を閉じる。



3. 定量ハンドルを開き、止水栓で止水したことを確認する。

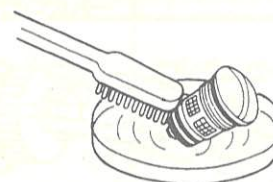


4. マイナスドライバーを溝に差し込みストレーナをゆるめて取外す。

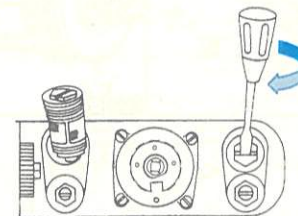


注：ストレーナ部の周囲のごみは、取除いてください。

5. ストレーナを取り出し、ストレーナの網目につまごみをブラシなどで取除く。

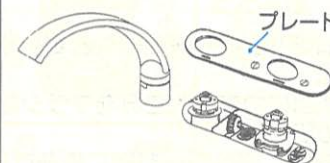


6. ストレーナを元どおりに戻し、止水栓を開く。

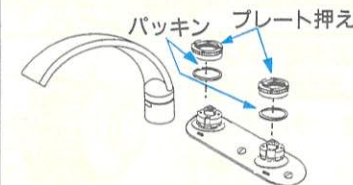


注：器具内の残水が流れ出てきた場合には、雑巾でふき取ってください。

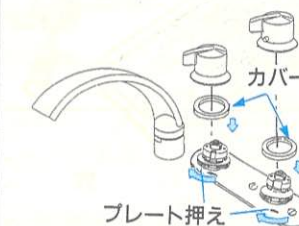
7. プレートをかぶせる。



8. プレート押えにバックシンを入れて、ねじ込む。



9. プレート押えにカバーをかぶせハンドルを取付ける。

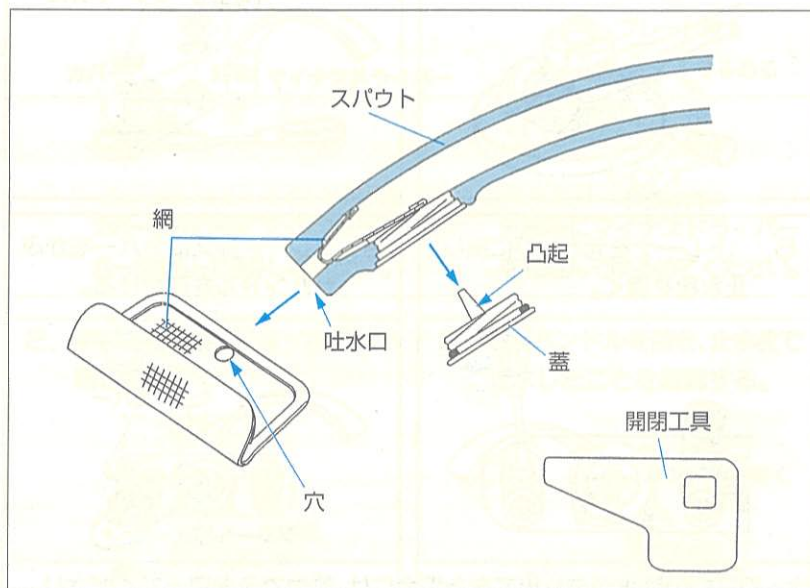


吐水口部の掃除

スパウトからの吐水が乱れる時は、次の要領で網を掃除してください。

1. 網の取出し
 - 製品に付属されている開閉工具またはドライバーなどで蓋を外してください。
 - 網をドライバーの先などで、吐水口の方向に押し出してください。
2. 掃除
 - 網目につまんだごみをブラシなどで取り除いてください。
3. 網の組み込み
 - まず、網は組込む前に折曲げ部分を少し開いてから、組込むようにしてください。
 - 網は吐水口から押し込んでください。この時、網は5mm程度奥まで押し込むように注意してください。
 - 蓋をねじ込む時は、網の飛び出しを防ぐため網の穴に凸起部を通すようにしてください。

△作業中は、網の周囲でケガをしないように注意してください。



自動バルブの掃除のしかた

<p>1 バルブカバー</p> <p>止水栓</p>	<p>プレートカバーを取外した後、水側・湯側の止水栓を閉め、湯水を止める。 (P13を参照)</p>	<p>5</p> <p>シートパッキン</p>	<p>シートパッキンにごみかみがないか調べる。</p>
<p>2</p>	<p>定量ハンドルを矢印方向へ止まるまで回す。</p>	<p>6 小穴</p>	<p>小穴がつまっていたら細い針金(荷札の針金など)で掃除する。</p>
<p>3 バルブカバー</p>	<p>バルブカバーを開ける。</p>	<p>7 バルブカバー</p>	<p>バルブ部を元どおりにおさめ、バルブカバーを閉める。</p>
<p>4</p> <p>バルブ</p>	<p>バルブ部を取出す。</p>	<p>8</p>	<p>水側・湯側の止水栓を開き、プレートカバーを取付ける。 (P14を参照)</p>

故障したときは

故障したときの修理はお取付工事店にご依頼ください。
なおご不明な点がございましたらお客様相談室にお問合わせください。

修理を依頼される前に

簡単な故障はご家庭でも直せますので、修理を依頼される前に、下表の点検をしてください。

現象	お調べいただくところ
■流量が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ●止水栓は開いていますか。 ●ストレーナのごみつまりはありませんか。 →ストレーナの掃除 (P.13参照)
■温度調節がうまくできない	<ul style="list-style-type: none"> ●混合栓に湯又は水がきていますか。 温度調節はよいですか。 →温度調節のしかた (P.11参照) ●ストレーナのごみつまりはありませんか。 ストレーナの掃除 (P.13参照)
■湯水が止まらない	<ul style="list-style-type: none"> ●シート部にゴミをかんでいませんか。 ●バルブの小穴がつまっていますか。 →自動バルブの掃除のしかた (P.16参照) ●ハンドル目盛が「止水」の位置にあり →緊急時の止水のしかた (P.18参照) ●定量ハンドルの動きを妨げていませんか。
■湯量が大きく狂う	<ul style="list-style-type: none"> ●湯量の設定をまちがえていませんか。 ●定量ハンドルの動きを妨げていませんか。

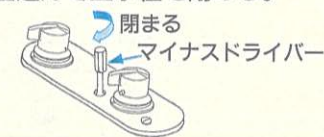
緊急時の止水のしかた

定量機能が故障し、湯水が止まらないなど、緊急を要するときは下図の要領で止水栓を閉めてください。

1. 付属の開閉工具で止水栓キャップを外す。



2. 奥までマイナスドライバーを差込んで止水栓を閉める。



●メモしておくくと便利です。

購入年月日	購入店名
年 月 日	
	電話 ()